

平成 3 0 年

第 1 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 3 0 年 2 月 1 9 日

平成30年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇仙北市学校適正配置について

学校適正配置の検討に関する基本方針を基に、教育委員会で検討対象校や今後の進め方等について熟議を重ねてきましたが、2月15日に開催された総合教育会議において、学校適正配置の検討に関する基本方針や検討対象校、今後の進め方等について議論し、方向性を決定しました。

今後、検討対象校となった中川小学校、桧木内中学校の保護者・住民の皆様との意見交換会を開催し、子どもたちのよりよい教育環境の構築等の観点から議論を重ねていきます。

◇交通安全全国優良学校賞の受賞について

1月19日、第58回交通安全国民運動中央大会において、神代小学校が交通安全優良学校賞を受賞しました。

この表彰は、交通安全教育活動を積極的に推進し、児童の交通安全教育と交通事故防止に顕著な功績があった学校に贈られるもので、今年は全国から52校、内、秋田県からは神代小学校一校が表彰されました。

神代小学校は、4～6年生で自転車通学を実施しており、長年にわたり学校と警察、交通安全協会が連携して交通安全教室（角館自動車学校の教習コースでも実施）や、定期的に自転車検定を行うなどユニークな活動を続け、交通安全意識や交通ルール、自転車運転技能等の向上に取り組み、成果を上げていることが認められたものです。

◇文部科学大臣賞学校奨励賞の受賞について

1月28日、第29回MOA美術館全国児童作品展において、西明寺小学校が文部科学大臣賞学校奨励賞を受賞しました。この賞は、

全国で6校が受賞し、秋田県からは西明寺小学校一校が受賞しました。

この作品展は、子どもたちが自然・環境・社会、他者との関わりを通して、興味や関心をもったことを感性を働かせながら表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的に、毎年開催されているもので、西明寺小学校のこれまでの学校全体での質の高い継続した取組が高く評価され、今回の受賞となったものです。

◇くりっ子サイエンスクラブの活躍について

3月9日に、全国の小・中・高校生の研究・アート及び文芸の振興奨励と青少年の個性の育成を目的とした第61回全国学芸サイエンスコンクール（主催：旺文社、後援：内閣府、文部科学省）において、西明寺小学校くりっこサイエンスクラブがフジテレビ学校特別奨励賞とサイエンス分野理科自由研究部門において最高賞である金賞を受賞することになりました。

くりっこサイエンスクラブは、「うずに関する研究～お風呂そうじの時間短縮大作戦～」というテーマでお風呂の水を早く抜くためにはどうしたらよいかを研究し、全国15,422点の中から見事金賞に選ばれたものです。

◇小学生の活躍について

1月6日から秋田県立体育館で開催された魁杯争奪第46回県ミニバスケットボール交歓大会兼第40回県スポーツ少年団大会が開催され、男子は角館ブラザーズチーム、女子は西明寺チームが出場しました。

男子の角館ブラザーズチームは、1回戦湯沢東チームに勝利しましたが、残念ながら2回戦で土崎南チームに1点差で惜敗しました。

女子の西明寺チームは、1回戦西馬音内チーム、2回戦南外チームに勝利し、準々決勝で川尻チームに惜敗しましたが、見事ベスト8進出を果たしました。

なお、角館ブラザーズの伊澤颯太（そうた）さん、西明寺の福岡

桜佳（おうか）さんが優秀選手の表彰を受けました。

◇中学校スキー大会での活躍について

1月11日から第61回秋田県中学校スキー大会が花輪スキー場を会場に行われました。

アルペンでは、角館中学校2年鎌田匠人（しょうと）さんが男子回転で6位、男子大回転で8位の成績を収めました。

ノルディックでは、神代中学校2年荒澤龍晟（りゅうせい）さんが男子5キロフリーで10位、男子5キロクラシカルで12位となり、男子リレーでは神代中学校男子リレーチームが6位入賞を果たしました。

角館中学校の鎌田さんと、神代中学校の荒澤さんは、1月28日から山形県蔵王で行われた第54回東北中学校スキー大会と、2月8日から秋田県花輪スキー場で行われた第55回全国中学校スキー大会に出場し、惜しくも入賞は逃しましたが、見事な滑りや走りを見せてくれました。

◇学校給食での「御狩場焼」の提供について

「学校給食記念日」となっている1月24日に、仙北市内の小中学校の給食で、昨年に引き続き佐竹北家伝承の「御狩場焼」が提供されました。

今回の「御狩場焼」は、鶏もも肉を焼き、給食用にアレンジした山椒味噌を添えて提供されました。

子供たちは、香ばしく焼けた鶏肉と香りの良い山椒味噌を口いっぱいにはおぼり、郷土に伝わる伝統料理のおいしさを堪能していました。

今後も、地場産物や郷土料理などを取り入れ、児童生徒の郷土を大切にする心を育てるよう努力していきます。

◇青山学院大学との交流活動について

平成28年度に、青山学院大学と包括連携協定を締結したことが縁で、2月4日から7日までと2月15日から昨日までの2回にわ

たり、青山学院大学の学生25人が仙北市を訪れ、一人暮らし高齢者宅の除雪ボランティアや小・中学校で英語授業への参加、田沢湖高原雪まつりの準備協力などの交流活動を行いました。

除雪ボランティアでは、仙北市のような積雪状況を見たことがない学生ばかりで、雪国の生活の一端を経験し、冬の暮らしの大変さを実感したようでした。

また、中学校の英語授業では、自分たちが住んでいる地域の魅力について、グループの中に入って一緒に課題に取り組み、子供たちに英語でのアドバイスなどをしていました。学生からも中学生からも、ともに好評で、短いながらも楽しく、充実した時間を過ごしたようでした。

雪まつりの作業協力では、沿道の雪壁に雪灯籠を作ったり、スタードームの組み立てなど、冬の仙北市を体験してもらい、多くの魅力を感じていただけたと思います。

今後も冬季に限らず、さまざまな交流を広げながら、連携を深めていきたいと考えております。

【生涯学習課】

◇「仙北市総合美術展」について

「第7回仙北市総合美術展」が、2月6日から18日まで角館町平福記念美術館において開催されました。

毎年多くの市民から作品が出展され、日頃の生涯学習活動の成果の発表の場として定着してきたところですが、今回から出展者の枠を高校生まで引き下げ募集したところ、角館高等学校の美術部や書道部からも出展され、合わせて148人と1グループから、絵画、書、写真、工芸、手芸作品など計160点の出展がありました。

会期中は、展示された力作揃いの作品を多くの来場者が鑑賞し、また、出展者との交流も図られるなど、あらためて生涯学習の裾野の広さを実感する有意義な美術展となりました。

【公民館】

◇新春書き初め大会について

1月5日、角館交流センターを会場に「第13回仙北市新春書き初め大会」が開催されました。小学生の部に24人、高校生の部に26人の合計50人が参加し、「きぼう」や「いぬどし」など学年毎の課題に取り組み、さわやかな墨の香りが漂うなか新年への思いを込め真剣に筆を運んでいました。

また、審査のあいだには、恒例となった角館高等学校書道部による書道パフォーマンスが披露され、「笑う門には福来たる」と題し、10畳ほどの大きな紙に「新たな心 抱負をかかげ春のはじまり、一筋の光を追い 全身全霊踏み出そう、自分らしく喜びの花 咲き誇れ」という詩をBGMを流しながら、手際よく迫力ある筆さばきで書き上げると、会場内は拍手に包まれ、大いに盛り上がりました。

この大会で書かれた作品は、同日から1月22日までワンダーモールタカヤナギ店に展示され市内外の多くの方々に鑑賞していただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇中村輝子様への感謝状贈呈について

12月2日、新潮社記念文学館新収蔵品展「高井有一展」オープニング・セレモニーにおいて、旧蔵書や愛用品の寄贈と500万円の寄附に対して感謝の意を表するため、市長から中村輝子様へ感謝状と記念品をお贈りしました。中村様から頂きました寄贈品と寄附金は、これからも大切に使用してまいります。

◇新収蔵品展「高井有一展」について

12月2日から3月30日まで、新収蔵品展「高井有一展」が開催されています。初公開の「高井有一書斎」では、中村様からの助言により高井先生の直筆原稿を元に製作した樺細工の表札を掲げ、入口には塩野米松作エッセイ「引き出しのない机」を展示していま

す。高井先生や中村様と親交が深かった塩野氏が、角館図書館後援会と共に、中村様に対して寄贈の働きかけを行っていたことから、この度の寄稿に至ったものです。

「企画展」では、高井先生の直筆原稿始め思い出の写真パネル、親密であったと思われる作家の書簡等100点を展示していますので、多くの皆様にご来館いただきたいと思います。

◇学習資料館図書消毒機の設置について

2月9日に、学習資料館に中村輝子様からの寄附金の一部を活用し図書消毒機を設置しました。図書消毒機は、紫外線を使って殺菌消毒し、本に風をあててゴミやにおいを取る機械で、図書の貸出や返却の際に使用できますので、多くの皆様にご利用いただきたいと思います。

【スポーツ振興課】

◇平昌冬季パラリンピックへの出場について

3月9日に開幕する平昌冬季パラリンピックのノルディックスキー距離とバイアスロン競技に、仙北市出身で盛岡視覚支援学校教員の高村和人（かずと）さんが、日本代表選手として出場します。

高村さんは、生保内小学校5年生のときに、視力が失われていく進行性の難病と診断され、生保内中学校、雫石高校と成長するにつれ視力を失っていき、高校2年のときに、現在の盛岡視覚支援学校に転入しました。

29歳のときに、同僚から誘われて始めたノルディックスキーが縁となり、その後、トレーニングと努力の積み重ねが実を結んで、国内外の大会で優勝できるレベルまで成長しました。

高村さんは、パラリンピックでは、これまで支えてくれた多くの人たちの感謝に応えられるよう最後まで走り抜きたいと抱負を語ってくれました。

平昌冬季パラリンピックでの懸命な走りに期待するとともに、市

民からも大きな声援を送りたいと思います。

◇フリースタイルスキーモーグルジュニアキャンプについて

1月27日と28日に、地元の子供たちの中からモーグルの選手発掘と育成を図るため、秋田フリースタイルスキーモーグルジュニアキャンプが、たざわ湖スキー場で開催されました。

このキャンプは、県と市の共催により行われたもので、市内から参加した小・中学生11人をはじめ、県内や青森県からも7人が参加しました。

キャンプでは、初心者と経験のある部門に分かれ、モーグルの元オリンピック日本代表選手や県スキー連盟の方々から基本的な滑りや実践的なターンなどの指導を受け、コブの中の滑りを繰り返しながら、ワクワク、ドキドキ感を楽しんでいるようでした。

参加者からは、是非また開催してほしいとの要望が寄せられ、今後も、こうした機会を提供しながら、子供たちの中から未来の選手が出てきてくれることを願うとともに、モーグルの聖地として地域を盛り上げるよう積極的に取り組んでいきます。

なお、参加した子供たちを3月3日と4日に、2018FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会に招待し、世界レベルの迫力ある滑りを観戦してもらうことにしています。

◇2018フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について

2月3日と4日に、たざわ湖スキー場で、2018フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会が開催されました。

5年連続5回目の開催となったこの大会には、全国から男子45人、女子28人の選手が出場し、2月3日にモーグル競技、4日にデュアルモーグル競技を行いました。

眼下に田沢湖を一望する黒森山のモーグルコースは、フリースタイルスキー関係者からも高い評価を得ております。

地元の競技役員の皆さんからエア台やコース整備にご尽力いただ

いたお陰で、良好なコンディションでの競技会を迎えることができたものであり、深く感謝したいと思います。

出場した選手たちは、スピード感あふれるターンや高いレベルのエアに果敢に挑戦し、攻めの滑りをする度に詰めかけた観客から大きな拍手と歓声が沸き上がっていました。

◇ 2018 FIS フリースタイルスキーワールドカップ

秋田たざわ湖大会について

3月3日と4日に、4年連続4回目となる2018 FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会が、たざわ湖スキー場で開催されます。

この大会には、現在、開催中の平昌冬季オリンピックで、日本男子勢として、初めて銅メダルを獲得した原大智（だいち）選手をはじめ、金メダルのキングズベリー（カナダ）や銀メダルのグラハム（オーストラリア）のほか、昨年の世界選手権と冬季アジア大会で優勝した堀島行真（いくま）選手。女子では、平昌冬季オリンピック日本代表の村田愛里咲（ありさ）選手のほか、星野純子（じゅんこ）選手や平昌オリンピックのメダリストなど、世界トップレベルの力と技を間近で見ることができ、魅力満載の大会となるものと期待しています。

今年も大会アンバサダーとして、上村愛子さんからお手伝いをいただくことになっており、爽やかな笑顔やトークが会場を盛り上げてくれることと思います。

また、市内小・中学校の児童生徒による横断幕や紙風船、ウェルカムボードなど、まごころのこもった手作り応援グッズで選手の皆さんをお迎えします。

なお、今回のエキスカーションツアーは、樺細工伝承館で参加型のミニ提灯絵付け体験を計画しており、各国から参加された選手、役員の皆さんに、存分に楽しんでいただけるものと思います。

冬季オリンピック直後の大会となることから、競技のための環境整備はもちろんのこと、観客等へのおもてなしにも十分に心を配り、

昨年以上の盛り上がりとなるよう取り組みます。

◇高雄国際マラソンへの市民ランナー派遣について

2月25日に開催される高雄国際マラソン（台湾）へ、田沢湖マラソンを完走した市民ランナー2人を派遣いたします。

フルマラソンからは松本成人(まさとし)さん（角館町在住）、20キロマラソンからは友永千春(ちはる)さん（角館町在住）が選出されました。高雄国際マラソンでは、松本さんがフルマラソン、友永さんが25キロウルトラハーフマラソンへ出場予定となっています。

高雄国際マラソンへの派遣は、田沢湖マラソンとの交流事業の一環として、また相互の市民交流にむけた初めての取り組みであり、平成30年度の第33回田沢湖マラソンへも高雄国際マラソンからランナーを招く予定となっています。

お二人には、マラソンをとおした国際交流の一翼を担っていただきたいと思います。

【文化財課】

◇伝建群防災施設整備事業Eブロックの完成と文化財防火デー事業の実施について

今年度の伝統的建造物群保存地区防災施設整備事業（国庫補助事業）のEブロック工事（樺細工伝承館から旧石黒恵家の間）、（契約金額15,390,000円）が、1月31日に完成いたしました。今回の施設整備により、防災ポンプ、配水管の更新、消火栓の新設など、伝建群の防火対策施設が更に充実しました。

この防災設備工事の完成にあわせて、2月10日に角館北地域自主防災会と文化財課で、文化財防火デーの事業として、新規設備の説明会と防災設備までの除雪作業や機材の点検等を行いました。

◇おやま囃子芸能発表会について

2月11日に、角館交流センターで「おやま囃子芸能発表会」が

開催され、14 団体が出演しました。

この発表会は、「角館のお祭り保存会」が主催でおやま囃子の保存・継承を目的に毎年開催しており、今年で23回を数えます。

また、初めての試みとして、ユネスコ無形文化遺産に登録された東北の「山・鉾・屋台行事」団体である、八戸三社祭、花輪囃子、土崎神明社祭、新庄まつりの各団体からも出演していただき、交流を深めました。

当日は、歴史ある伝統芸能の囃子や踊りを堪能しようと市内外から詰めかけた観客や参加者が、合計800人近くにのぼり、大いに盛り上がりました。

◇国名勝 桧木内川堤のサクラについて

名勝桧木内川堤のサクラについては、ソメイヨシノ花芽食害防止と景観保全を目的として、2月7日から3月8日までの30日間、ウソの有害鳥獣捕獲を角館猟友会に委託しております。

◇田沢湖郷土史料館展示品の移設について

田沢湖郷土史料館が昨年3月で閉館したことに伴い、田沢湖郷土史料館で保管している黒倉、潟前遺跡関係の貴重な資料等を、田沢湖駅2階へ移設展示するための作業を現在進めております。

秋田県立博物館並びに秋田県埋蔵文化財センターからご指導をいただきながら作業を行っておりますが、子供たちや、観光客にもわかりやすく、楽しんで見学できる展示内容になるよう工夫をしております。

3月1日に公開予定ですので、多くの方に観覧いただけるよう、今後広くPR活動を行いたいと思います。

【平福記念美術館】

◇児童生徒県南美術展について

12月2日から1月28日まで、「第40回児童生徒県南美術展」を開催しました。今年は県南地区の小・中学校81校から1,037

点の出品があり、昨年と比べ小・中学校で各1校の増、出品数では27点の増となりました。

11月26日の審査会では、今年は第40回の節目となることから、特別審査員賞を3点加えた特賞26点、奨励賞201点、入選810点を決定しました。

1月20日には、特賞受賞者の表彰式を開催し、賞状と記念品を授与しました。審査委員長の佐々木良三秋田大学名誉教授からは、出品作品について、子どもたちの表現力や発想等に対する詳しい講評をいただきました。

また、12月7日から12月27日まで、角館中学校全校生徒による「お気に入りの角館展」と題した、町内の風景画等の作品展示をしました。

◇正月三が日の特別開館について

例年、年末年始期間は1日のみに特別開館しておりましたが、今年は当館と新潮社記念文学館、権細工伝承館の3館が1日から3日まで特別開館しました。3日間で3館合計442人の来館者があり、展示物等を楽しんでいただきました。

◇館蔵品・寄託品展について

2月24日から4月10日まで、「館蔵品・寄託品展」を開催します。美術館所蔵作品、寄託作品の中から郷土画人の作品を中心に展示予定ですが、平成29年度に寄贈頂いた作品なども加えて展示します。平福穂庵・百穂常設展と併せてお楽しみいただくよう、皆様のご来館をお待ちしています。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、引き続き教育行政の基本方針及び主要な施策の概要について申し上げます。